

第7回「震災問題情報連絡会」

日時:2013年1月27日(日)17:15-18:30

場所:日本学術会議(開催協力:日本学術会議震災再建分科会)

参加者:15名

話題

1. 日本学術会議震災再建分科会[委員長:船橋晴俊]の提言案について 近日中に社会学委員会提出
 2. 第4回社会学4学会合同研究・交流集会 in 宮城県(2月22-23日)[実行委員:吉野英岐]
 - 22日エクスカージョン 仙台駅西口→岩沼市民会館(市長)→仮設住宅・移転先造成地→仙台北法務局名取出張所→仙台駅
17:30-19:30 懇親会(3000円) エクスカージョン:先着40名(2000円+昼食) (企画担当:尚絅学院大学 内田龍史)
 - 23日研究集会「地震・津波・原発災害から2年 被災地復興の現状と課題を考える」
A部会、B部会とも先着4名(計8名)募集;配布資料は40部;無料(会場提供協力:東北学院大学 齊藤康則)
詳細は、http://soc4symposium.sakura.ne.jp/mt/first_website/44/
 3. 科研費プロジェクト論文集について[加藤眞義]
 4. メタデータ収集状況報告・メタデータワーキンググループ(1月27日午前開催)からの報告[岩井紀子]
エクセルファイルに自己記入の形で回答依頼(調査項目は、下記の1)の調査に回答できるように設定)
 - 11月(震災情報問題連絡会ML) 23件
 - 12月(社会学学会会員ML) 修正4件、新規25件統合版作成→レイアウト整え(宍戸邦章・岩井紀子)
計:調査59件、ヒアリング・現地調査28件、資料収集5件、シンポ・報告会80件、研究成果110件、支援活動10件、その他6件
- ・メタデータの活用
- 1) 日本学術会議「東日本大震災に係る学術調査検討委員会(岩澤康裕委員長)」から日本社会学会への「東日本大震災にかかわる協力学術研究団体の活動の調査(第2回)」への回答 近日中
 - 2) 学術会議震災再建分科会提言の参考文献・参考資料作成の際に参照
 - 3) 日本社会学会震災問題情報連絡会のサイトにアップ
 - 4) 社会学系コンソーシアム分科会のサイトにアップ:英語
 - 5) 日本社会学会大会シンポジウム、2014ISAでの報告資料
- ・メタデータを英訳してサイトにアップすることについて
- 英訳の前に、社会学学会会員にMLで連絡し、不都合な方は連絡してもらおう。電話番号は一律削除する。
- ・メタデータ収集フォームの他の学会での活用
- 活用してもらえばよい。統合したときに、どの学会からの依頼への回答であるかがわかるようにコードを振るなど工夫する。
- ・今後の調査
- 11月、12月に用いたエクセルのフォームで必要な情報が効率的に得られたので、一般的なアンケートの形で調査を行う必要はない。今後もこのフォームを用いて、必要な時に情報を更新・加筆・修正する。
5. ISA横浜大会の準備[岩井紀子・船橋晴俊・矢澤修次郎]
 - ・Ad Hoc Session (1月15日締切):17:30-19:30(120 minutes)3月に決定Ad Hoc Session 1(申請済み)
Title:What Sociologists Have Done after Large Scale Disasters : Japan, China, Indonesia, Taiwan and U.S.A.
Organizers: YAZAWA, Shujiro and IWAI, Noriko
Chair: YAZAWA, Shujiro
報告:日本、中国、インドネシア、台湾、アメリカ
- Ad Hoc Session 2(申請済み)
Title: Social Choice on Nuclear Energy after the Fukushima Disaster
Organizers: FUNABASHI, Harutoshi and MOL, Arthur
報告:日本、韓国、アメリカ、オランダ
- ・Thematic Session 14:00-15:20(80minutes)
1. Natural/Human disasters and the recovery of local society
 2. Low fertility, rapidly aging society and changing gender relations
 3. Civil society issues: CSOs, NGOs, social movements

4. Globalization, migration and multi-ethnicity in Asia

5. New Cultural Waves from Asia

1月31日(木)17:00までに世界社会学会議組織委員会(wcs2014loc@gmail.com)へ報告希望者・アイデア連絡

27日の情報連絡会では、この申請について、具体的なアイデアは出ませんでした。どうぞ積極的にご連絡なさって下さい。

・各RCにおけるセッション募集状況一覧(<http://www.isa-sociology.org/congress2014/rc/>)

RC39 Sociology of Disasters : 割当セッション数18 ; 他のRCとのジョイントも可 ; 2月1日に調整する模様

Program Coordinators Lori Peek, Colorado State University, USA, lori.peek@colostate.edu

Sudha Arlikatti, University of North Texas, USA, Sudha.Arlkatti@unt.edu

セッションの呼びかけはすでに締め切られていますが、RC06とのジョイントの可能性を尋ねたところ、可能性有

2月1日に調整するとのことで、アイデアがあれば、タイトル、2・3文の説明、調整役の氏名を連絡

岩井:Disaster and Family (RC06とRC39のジョイント)の申請をさぐってみます ; ほかのRCとの可能性もあると思います

ask the program coordinators to send a title, 2-3 sentence description, and name(s) of who would moderate the session

RC06 Family Research : 割当22 ; 2月1日締切

RC24 Environment and Society:割当22 ; 3月8日締切;Stewart LOCKIE, The Australian National University, Australia
at least two convenors, preferably from different countries.

RC03: Community Research:割当14;3月15日締切;Rachel HARVEY, Columbia University, USA,

Clemente Jesús NAVARRO YAÑEZ, Universidad Pablo de Olavide, Spain,

RC21: Regional and Urban Development:割当 24 ; 3月15日 ; Yuri KAZEPOV, University of Urbino, Italy,

Takashi MACHIMURA, Hitotsubashi University, Asato SAITO, Yokohama National University